

## 第2章 語の書き表し方

### その1 仮名遣い

#### 1 基本的な仮名遣い

##### 1. p23 4. 注意すべき仮名遣い (7)

「てびき」p23では現代仮名遣いと異なった表記は直して書くとされています。  
当館では、頼に「ほほ」とルビがある場合も「ほお」と点訳していますが、ひらがなで「ほほ」と表記されている場合も「ほお」と点訳するという理解でよろしいでしょうか。

【A】

「てびき」p23 (7)に従い、仮名で「ほほ」と書いてあっても、「ほお」と点訳します。

##### 2. p23 4. 注意すべき仮名遣い (7)

ひらがなで書かれている「ほほ」についてお尋ねします。  
仮名で書かれていても「ほお」と点訳するとありますが、よくわかりません。辞書には空見出しですが「ほほ」と載っていますし、著者はそのように読ませたいのだと思います。てびきp23 (7)によってとありますが、「ほほ」は歴史的仮名遣いにあたるのでしょうか。現代仮名遣いについて調べてみましたら、内閣告示第1号—現代仮名遣い、6に「ホオ、ホホ」のように発音に揺れのある語について、その発音をどちらかに決めようとするものではない(Wikipedia)という記述がありました。これによると「ほほ」でも良いと思うのですが、もう少し詳しくご説明いただけないでしょうか。

【A】

「ほほ」は、見出しとして扱っていない辞書もありますし、見出しにあっても、ほとんどの辞書で空見出しです。ほとんどの辞書で空見出しの場合は、点訳ではその読みは用いません。(「てびき」p14「3. 調査」)

「頼」を「ほほ」と書くのは歴史的仮名遣いです。現代仮名遣いの前書き6. は「どちらかに決めるものではない」と緩やかに言っていますが、点字では、「頼」は「ホオ」、「的確」は「テキカク」と書きます。

「かりうど(狩人)」「いなづま(稲妻)」なども歴史的仮名遣いですが、現代語の辞書にも空見出しで掲載されている場合があります。ですが、点字では、「カリュー

ド」「イナズマ」と書きます。

また、点字の仮名遣い＝現代仮名遣いではありません。現代仮名遣いと異なる箇所がいくつかありますので、「てびき」でもその箇所に応じて「現代文の仮名遣い」「基本的な仮名遣い」「点字の仮名遣い」などの言い方を用いています。

「点訳のてびき第3版指導者ハンドブック第2章編」p13～ p14のコラムに現代仮名遣いと点字の仮名遣いの違いを説明していますので、詳しくはそちらをお読みいただきたいと思います。

現代仮名遣い前書きの6の次に

7. この仮名遣いは、点字、ローマ字などを用いて国語を書き表す場合のきまりとは必ずしも対応するものではない。

とあります。点字の仮名遣いは表音文字・触読文字の特徴を反映したルールが考えられていますので、点訳では「てびき」の規則に従って書いていただくことになります。

### 3. p23 4. 注意すべき仮名遣い (7)

語例の落人、召人には「おちうど」とルビがあっても「オチュード」、「めしうど」とルビがあっても「メシュード」とあります。狩人には注記は書かれていませんが、同様と思います。

「またうど」と原文にありました。漢字で書けば「全人」で辞書を引けば「まとうど」という読みがでています。この場合も、点字では「マトード」と書くのでしょうか。ひらがな表記なので「マタウド」としてよいのでしょうか。

【A】

マトードとなります。

「現代仮名遣いと歴史的仮名遣いの対照表」から、歴史的仮名遣いの「たう」は、現代仮名遣いでは「とう（トー）」になります。

「峠」（たうげ）→ トーゲ

「痛うございます」（いたう）→ イトー

のようになります。

「現代仮名遣いと歴史的仮名遣いの対照表」は、文化庁のページにあります。「たう」は以下のページに載っています。

[https://www.bunka.go.jp/kokugo\\_nihongo/sisaku/joho/joho/kijun/naikaku/gendaikana/huhyo\\_yu.html](https://www.bunka.go.jp/kokugo_nihongo/sisaku/joho/joho/kijun/naikaku/gendaikana/huhyo_yu.html)

### 4. p23 4. 注意すべき仮名遣い (7)

「筧」の読みについてご指導をお願いします。

読みは、「かけひ」ですが、点字表記も「カケヒ」でよいでしょうか、それとも、「かけい」なのでしょうか。

【A】

「筧」は「懸け樋」とも書き、「樋」は「ひ」と読むところから、現代仮名遣いで、「かけい」「かけひ」、二つの読みがありますので、どちらで読んでも間違いではありません。

#### 5. p23 4. 注意すべき仮名遣い (8)

有岡利幸著『資料 日本植物誌』（複数人で点訳）の校正をしています。樹木24種、山菜15種の文化史ですが、どう校正すればよいかわからない点があります。

万葉集など和歌・出雲風土記など古典が数多く挿入されています。てびき、フォーラムのQ&A、古語辞典の現代仮名遣いを参考に現代仮名遣いに校正していますが、3ウメ、12ネムノキ、13センダンの校正についてお尋ねします。

3ウメ…和歌の「むめ」は「ウメ」に直してよいでしょうか。

12ネムノキ…

「ネブとカウカと合歡木

古今和歌集では合歡を「かうか」と読ませ、新撰和歌六帖や夫木和歌抄では「かふくわ」と読ませているが、これらは合歡を音読したもの」

点訳は「カウカ」「かうか」「かふくわ」のままです。すべて「コーカ」とし「かふくわ」だけ点挿でいれたほうがよいでしょうか。和歌の「かうか」は「コーカ」と校正してよいでしょうか。

13センダン…古名「あふち」が和歌だけでなく文中にたくさんでてきますが、点訳ではそのままです。原文の一部を書きます。

古名あふち・現せんだん

わが国で古名で「あふち（おうち）」とよばれ、「せんだん」を現在の標準和名としている樹木は…

センダンは…古名のあふちの字を誤って樗（ちょ）にあてた。…かつて悪木の代表である樗の字を「あふち」にあてたが…

センダンは「あふち（おうち）」として『万葉集』に四首の歌が詠まれている。

（和歌…すべて「あふち」）

挿入されている古典の点訳が「あふち」だけ歴史的仮名遣いはおかしいと思うのですが、原本にあふち（おうち）とあるので、「おうち（あふち）」と逆にして「おうち」に点訳したほうがよいでしょうか。また「おうち」は扇のように長音にせず、このままでしょうか。

【A】

「むめ」は現代仮名遣いでも「むめ」になりますので、仮名で「むめ」と書かれていれば「むめ」でよいと思います。「梅」は「ウメ」と読みます

「カウカ」「かうか」「かふくわ」は、現代仮名遣いでは「コーカ」となります。

「かふくわ」も特に点訳挿入符は要らないと思います。

「あふち」は歴史的仮名遣いで、現代仮名遣いでは「おうち」ですので、「オーチ」となります。歴史的仮名遣いの「あふ」は現代仮名遣いでは「おう」（オー）、扇の「オー」と同じです。すべてオーチとして点訳してよいと思いますが、説明を加えるなら、初出のときに「オーチ（レキシテキ■カナヅカイデワ■「アフチ）」と入れてはいかがでしょうか。

#### 6. p23 4. 注意すべき仮名遣い (8)

漢文の書き下し文の中で、助動詞「む」を「ん」と書いてもよいのでしょうか？「如何にせむ」の「せん」は理解できますが、「如何にかせむ」というときは、「か」の係り結びがあるので、「せむ」の方が連体形であることがはっきりしてよいように思います。原文で「む」と書いてあったとき、「む」を「ん」にすることは、現代仮名遣いにすることになるのでしょうか？

（原文）

言語は殊(こと)にすと雖(いえど)も藻思(しそう)は同じ

才名(さいめい)は昔の揚雄(ようゆう)に其奈(いかに)かせむ

（中略）

嬰兒(えいじ)生長し母兄老いにけむ

両地(りょうち)何(いずれ)の時に意緒(いしょ)を通ぜむ

【A】

イカニカ■セン

オイニケン

ツーゼン

となります。

助動詞の「けむ」「む」などは、現代仮名遣いでは「ん」「けん」となります。辞典によると、平安後期以降はすでに「ん」とも書かれるようになったとのこと。

#### 7. p23 4. 注意すべき仮名遣い (8)

「得」の読み方について、「得」を文語的に読めば、終止形は「う」で、已然形は「うれば」になります。これを現代仮名遣いで読むという場合、送り仮名がなくとも「える」と読んでいいのでしょうか。

また已然形は「えれば」または「えんば」と読んで差し支えないのでしょうか？

（原文）・・・『往生要集』の中の1節です。

人天交接（にんでんきょうしつ）して、両（とも）に相見ることを得。

（中略）

我もし道を得ば、願わくは彼を引摂（いんじょう）せん。

彼もし道を得ば、願わくは我を引摂（いんじょう）せん。

【A】

両（とも）に相見ることを得 ⇒ トモニ■アイミル■コトヲ■ウ

我もし道を得ば ⇒ ワレ■モシ■ミチヲ■エバ

彼もし道を得ば ⇒ カレ■モシ■ミチヲ■エバ

となります。

「得」は文語の動詞では え え う うる うれ えよ と活用しますので、終止形は「ウ」、未然形は「エ」になります。

この場合の「得ば」は、「もし得たならば」という順接の「ば」と思いますので、未然形になります。

古文を現代仮名遣いで点訳するということは、「給ふ」をタマウ、「やうなり」をヨ一ナリのように、仮名遣いを直して書くことです。「得（う）」をエルのように語そのものを現代の言い方に直すことではありません。

#### 8. p23 4. 注意すべき仮名遣い (8)

万葉集を現代仮名遣いにする場合について伺います。

濁音は原本通りにしています。

蘆辺（あしへ）、黄葉（もみち）、道の辺（みちのへ）・・・

ここで「生死の二つの海を～偲（しの）ひつるかな」という歌が出てきました。

偲ひつるかなは、「偲びつるかな」とした方が自然だと思いますが、「偲いつるかな」とした方がよいのでしょうか。

上代語では濁らない言葉が多いのですが、点訳で現代仮名遣いにするには前の蘆辺なども「あしべ」と濁音に変えた方がよいのでしょうか。

【A】

上代・古代の語は、濁音・促音を使用しないで書いてありますが、現代文の仮名遣いに直して点訳する場合は、現代語の音韻に直して書きます。

「蘆辺」はアシベ、「黄葉」はモミジ、「道の辺」はミチノベとなります。

「偲ひつるかな」は、シノビツルカナとなります。

#### 9. p24 4. 注意すべき仮名遣い (9)

原文に《禅の言葉に、「生也全機現、死也全機現（セイヤゼンキゲン、シヤゼンキゲン）」というものがあります。現はあらわれ、機は働きのことで、生も死も、宇宙すべての働きの現れである。あれもこれも、あれもこれも、宇宙全体の表現としてあ

る、というんです。》とあります。

このように、本文にルビが振ってあるときの「生也全機現、死也全機現（セイヤゼンキゲン、シヤゼンキゲン）」はどう書けばよいでしょうか。

【A】

「生也全機現、死也全機現」の一般的な処理としては、  
セイワ■スベテノ■ハタラキノ■アラワレナリ、■シワ■スベテノ■ハタラキノ■  
アラワレナリ

と書くのがよいと思います。または「全機」の説明が本文にあるのでしたら「全機」  
をそのまま書いて

セイワ■ゼンキノ■アラワレナリ、■シワ■ゼンキノ■アラワレナリ

の書き方もあるかもしれません。

このような読み方が分かりやすいと思いますが、漢文をそのまま音でよむ読み方も  
ありますので、ルビはその読み方を採っているようです。

その場合、漢字1字ずつ読むのが原則ですので、

セイ■ヤ■ゼン■キ■ゲン、■シ■ヤ■ゼン■キ■ゲンになります。

原文には直後に意味の説明があるようですので、このままでよいと思います。

#### 10. p24 4. 注意すべき仮名遣い (9)

台湾や中国の影響を受けた島を舞台にした小説の中に、御獄という祭祀などを行う  
ところの円柱2本に書かれた文字として、「天道本慈仁航渡群黎登聖域」「后恩施沛  
澤善導赤子醒迷津」とあります。

また、神社の中の祭壇の両側に書かれている文字として、「日輝朗朗安宇宙」「月影  
幽幽鎮乾坤」とあります。

どのように書けばよいでしょうか。

参考資料の中に台湾の施翠峰（シ スイホウ）氏の書籍が次のようにありますが、漢  
字の読みのとおり（台灣原始藝術研究＝タイワン■ゲンシ■ゲイジュツ■ケンキュ  
ウ）と書いてよいのでしょうか。その場合点訳挿入符で断わらなければならないで  
しょうか。

『台灣原始藝術研究』（國立傳統藝術中心）

【A】

中国では対聯といって門の両脇などに対となるめでたい文句などを記す風習があり  
ますが、ご質問の小説にある例は宗教的な意味が込められた韻文的なもののように  
も思われます。

大まかな意味が伝わるように読み下して点訳するのがよいと思いますが、これを日  
本語に読み下したものはネット上に見つかりませんでした。いろいろな読み方が  
あると思いますが、一例として以下のように処理されてはいかがでしょうか。

テンドー■ジジンヲ■モトト■シテ■フネデ■ワタリ■  
グンレイ■セイイキニ■ノボル  
ノチ■ハイタクニ■オンヲ■ホドコシ■ヨク■ミチビキテ■  
アカゴ■メイシンヨリ■メザム

「航渡」の漢語読みはコートですが「航」は船の意でも「航海する」の意でも用いられるようですので分かりやすくフネデ■ワタリと読んでみました。

天道信仰が海の向こうまで広まって群黎（万民）が救われ、赤子まで迷津（衆生が迷い苦しむ世界）から目覚めたことを寿ぐような意味合いでしょうか。

神社の祭壇の文字の読み下しは

ヒノ■カガヤキ■ローロート■シテ■ウチューヲ■ヤスンズ  
ツキノ■カゲ■ユーユート■シテ■ケンコンヲ■シズム

などが考えられます。

参考文献に掲載された中国語などの書名は、ルビがなければ漢字を音読みにするのが一般的な処理ですので、

台湾■ゲンシ■ゲイジュツ■ケンキューと点訳し、特に断りはないと思います。

国立傳統藝術中心の中心はセンターの意味ですが、これも参考文献に出てくるだけでしたら、コクリツ■ゲイジュツ■チューシンとしてよいと思います。

#### 11. p24 4. 注意すべき仮名遣い (9)

『忘却の河』（著者：蔡駿）中国語の本の日本語版です。

1. 中国語の著者名の書き方を教えてください。
2. 本文訳者あとがき

～南明通りを舞台にしたサスペンス小説『謀殺以水年華』の主人公（タイトルは『失われた時を求めて』の中国訳『追憶以水年華』にちなんでいるので本書は『失われた殺人を求めて』と訳した）。

この『追憶以水年華』の書き方はどうなりますか。点訳書凡例に記載する事項になりますか。

3. 著者紹介の文章中、「22歳から小説を発表。中国の○疑小説（サスペンス小説）の第一人者」（○の字体は、中国の漢字。小説の説も中国の漢字）

このような場合の書き方を教えてください。また、点訳書凡例に記載する事項になりますか。

【A】

「てびき」コラム22により、中国の人名は漢字の音読みで読んでよいですので、著

者名は、サイ■シュンとなります。この本の書誌でも「さい しゅん」になっています。

『失われた時を求めて』の中国語訳タイトルは、『水年華（すいねんか）を追憶する』（「水年華」は水のように流れる美しい歳月を意味するようです）、それに由来するサスペンス小説は『水年華を謀殺する』と、日本語式に読んで点訳してよいと思います。スイネンカは日本語にない言葉ですが文脈から「失われた時」を意味することが想像できますので、説明しなくてもよいと思います。

中国語でサスペンス小説を「懸疑小説」といい、「懸」の中国式簡体字が表示されているのだと思います。これも日本語式に音読みしてケンギ■ショーセツでよいのではないのでしょうか。意味はカッコで示されていますので漢字の説明をしなくてもよいと思います。点訳書凡例は特に必要ないと思います。

## 2 その他の仮名遣い

### 1. p25 1. 外来語・外国語の書き方

幸田文さんの文章に「カシウ塗り」という言葉が出てきます。

カシュー塗り のことですが、

外来語なので原本通りの表記にする → カシウヌリ

歴史的仮名遣いは現代文の仮名遣いにする → カシューヌリ

のように考えましたが、どちらを優先するのでしょうか。

【A】

外来語は原文の表記に従うことが原則ですが、カルシウム・カルシュームのように二通りの書き方が一般的な語に対し、カシウは、「うれしゅう」を「うれしう」と表記するような感覚の表現ではないかと思われまゝす。「カシウ」がカシューナッツの「カシュー」とはわかりにくいと思いますので、この場合は、カシューヌリと書いた方がよいと思います。

### 2. p26 1. 外来語・外国語の書き方 【処理4】

原文で「阿米弁糖」に「アメンドウ」のルビが振られています。

辞書では、アメンドウ【ポルトガル amendoa】アーモンドのこと、近世ポルトガルから渡来と書かれています。

この場合に、金平糖の点字表記「コンペイトー」と同様に「阿米弁糖」の漢語扱いとしてアメンドーと書くのか、アルファベット【ポルトガル amendoa】があるのでアメンドウと書くのか、漢字で書く外来語、「焼売」にシュウマイとルビがある場合「シュウマイ」と書くのと同様に「アメンドウ」と書くのでしょうか。



## 【A】

アmendウと書くのがよいと思います。

漢字で書かれた外来語や外国語については、「てびき」p26【処理4】に準じて書きますので、アmendウとなります。

金平糖や如雨露などは、ポルトガル語という意識はほとんどなくなり、日本語になっていると判断し、コンペイトー、ジョーロと書いています。

### 3. p26 1. 外来語・外国語の書き方 【処理4】

『世界のニュースを日本人は何も知らない6』を点訳しています。

その中で表し方が分からない箇所があります

原文1. 中国の動画サイト「抖音」(ドウイン／Douyin)

これは、漢字説明を書かずに「ドウイン」(Douyin)として良いでしょうか。

原文2. 中国の伝統的なデザインやコンセプトを現在に取り入れるトレンドのことを「国潮」(グオチャオ／guochao)と呼びます。

「国潮」(グオチャオ／guochao)について、原文では直後に「国潮」風の、「国潮」ファッション、国潮ブームなどの文言が出てきます。これらの書き方も教えてください。

原文3. 漢服(Hanfu)など中国古代の文化や歴史を好む

漢服(Hanfu)について、原文では数ページ後ろにも「漢服」(Hanfu)の文言が出てきます。読み方は「ハンフー」なので、漢字の説明をせずに「ハンフー」だけでよいでしょうか。

原文4. 中国では「辱(ルー)華(ファ)」という単語がトレンドになっています。

これは「中国(華)を侮辱(辱)する」ことを意味しますが・・・

この数行後ろにも「辱華」があるのですが、はじめにルビがあるので、いずれも「ルーファ」と読んで漢字説明をしなくてよいですか。

原文2行目のカッコ内の漢字については説明が必要ですか。その場合は「中華の“か”、侮辱の“じょく”」でしょうか。

原文5. Z世代は、台湾やシンガポールでは「草莓族」(いちご族)とも呼ばれています。

「草莓族」(いちご族)について、漢字の説明をせずに(いちご族)をカギを用いて「いちご族」としてよいでしょうか。

原文6. メディア大手スタータイムズ(四達時代)は、・・・

スタータイムズ(四達時代)について、原文の直後には スタータイムズ という言葉が数回出てきます。この場合の(四達時代)の表し方がわかりません。

## 【A】

アプリ名や企業名としての中国語は、ご質問のケースでは読みを書くだけでよいと

思います。普通名詞を中国語読みで示していて漢字を音読みしても分かりにくい場合は、点訳挿入符で漢字を見て読み取れる大体の意味を補ってはいかがでしょうか。

1. ByteDance によって開発された中国向けのショートビデオ共有アプリとのことで、単に Douyin とアルファベットで表記することもあるようです。漢字の説明はせずに「ドウイン」(Douyin) でよいと思います。

2. 初出箇所「グオチャオ (引 guochao 引) 点挿コッカ■チョーリユー点挿」のように説明を補い、以降は「グオチャオ」フー、「グオチャオ」ファッションなどと点訳してはどうでしょうか。

3. 初出に、ハンフー (引大 Hanfu 引) ■点挿チューゴクフク点挿 などと説明を補い、以下はハンフーの読みで点訳してよいと思います。

4. 「ルーファ」の直後に意味が説明されていますので「中国 (ファ) を侮辱 (ルー) する」のようにカッコ内を中国語読みにするだけで、漢字説明はなくてよいと思います。

5. 中国語読みは示されていないので、「イチゴゾク」として説明なしでよいと思います。

6. 中国の企業名で英語名は StarTimes とのことです。四達は中国読みがスターですので、読みが近く四方に通じるという意味も企業イメージに合うための命名だと思います。点訳は、スタータイムズ (四達時代) のカッコ書きは省略して、スタータイムズとだけ書いてよいと思います。中国名は「四達時代」である、などというような説明が文中にあれば、その箇所は「スター■ジダイ」とジダイを音読みで書くことになりますが、四達が四方に通じる意味であるなどといった言及がなければ、漢字説明は不要だと思います。

#### 4. p28 4. 固有名詞の仮名遣い

古事記を解説した本ですが、神様の名前にルビが振ってあります。

「てびき」に、仮名で書かれた固有名詞は原文の仮名遣いに従って書くとありますが、(ヂ) は (ジ) に直さなくていいのでしょうか。

##### 【A】

ルビは「仮名で書かれた固有名詞」にはあたりません。漢字があって、それにルビが振ってあるのですから、p28 4 (1) に従い、基本的な仮名遣いで書きます。ルビが歴史的仮名遣いでも現代仮名遣いに直して点訳します。

「出雲大神」に「いづものおほかみ」とルビがあった場合は、「イズモノ■オオカミ」となりますが、「天手力男神」に「あめのたちからをのかみ」とルビがあった場合は、「力」が連濁して「ぢから」になったので、「アメノ■タヂカラオノ■カミ」となります。

## 5. p28 4. 固有名詞の仮名遣い (2)

異世界に召喚される、または異世界に迷い込むという話です。20歳の木村結香さんが、異世界で新しいアンダーソンという姓を与えられ、ユウカ・アンダーソンと名乗ったら、名前は「ユウカ」「ユーカ」どちらでしょうか。

国際結婚で、ユウカ・アンダーソンとして外国で暮らした場合も同じでしょうか。また、日系一世として外国で暮らした場合、「ユーカ・キムラ」「ユウカ・キムラ」どちらでしょうか。

【A】

「ユウカ」が、「結香」であることが明らかですので、「ユーカ」となります。対応する漢字が無い場合や不明な場合は「ユウカ」と書くことになると思います。

国際結婚、日系一世などには関わりなく、どのような漢字を書くか、もともと漢字表記がないのかということで判断します。

## 6. p29 5. 特殊音点字を用いても書き表せない文字が使われている場合

人名で スヴァトスラフ・リヒテルとあるのですが、「ヴァ」はどう表記すればよいでしょうか。

【A】

なるべく発音に近い点字を用いることになりますので、スビャトスラフ、スヴァトスラフ、スヴィアトスラフなどが近いのではないのでしょうか。

## その2 数字

### 1 数の書き方

#### 1. p32 5. 年号の略記

著者紹介等で、「22年」や「24年」のように書かれていることがあります。アポストロフィがなく、下二桁で書かれています。

前後からわかるだろう、ということで、原本のまま22年、24年とすべきでしょうか。

「2022年」「2024年」とした方がいいのでしょうか。それとも、略記なのでアポストロフィを追記したらいいのでしょうか。

【A】

西暦を下二桁で表す際に、20年、22年などと書くのは日本語として不自然な書き方ではありませんし、新聞でもアポストロフィを使わずに、20年、22年などと書かれています。誤解を招くようなときには4桁で表すようになっていると思います。ですので、西暦を20年、22年などと下二桁で表されていれば、原本のとおりを書くの

がよいと思います。

点字でわざわざアポストロフィを用いると、読みにくい、または③の点の意味に戸惑う人もいると思います。

原文で、アポストロフィが使用してあれば、原文のとおりを書いてよいと思います。

## 2. p32 6. およその数

およその数の点訳についての質問です。

「1、2日」の点訳はどのようにになりますか。「数符1 数符2 二チ」でしょうか。

【A】

2、3日 3、4日 4、5日は、にさんにち、さんよつか、しごにちと読みますが、「1、2日」はこの形ではあまり使用されず、言い方は定まっていないようですが、数1 数2 二チとは言わないようです。

最もよく使われるのは、「いちにち、ふつか」という言い方のようです。

原文に「1、2日」と書いてある場合の点訳としては「数1、■フツカ」と書く事になりますが、読みやすさを考慮して「数1 二チ、■フツカ」としてもよいと思います。

## 2 数を含む言葉の書き方

### 1. p34 1. 数字を漢字音で発音する場合 (2)

原文：本木雅弘を映画「2 2 6」にキャスティング

「2 2 6」の表記の仕方について、以下のように意見が割れています。

#### ①数2 数2 数6

中点などで区切りもないので、原本通り表記したほうが良い。

#### ②数2 数2 6

二・二六事件を扱った映画であることは調べでわかったので、日付のように表記した方がよい。

点訳者の姿勢として、「原本尊重」「意味を伝える」どちらを重視するのがよいでしょうか。

【A】

二・二六事件を扱った映画でしたら、数2 数2 6 と書きます。

墨字の表記は多様ですので、内容を調査して書くことが必要になります。

「8020運動」も、「8020」と書いてあっても、80歳で20本という意味ですので数8 0 数2 0 と書くことになります。

## 2. p35 1. 数字を漢字音で発音する場合 (4)

「百」については、ぴったり「100」ではなく「たくさん」という意味での使用が多く、多くの語で仮名表記になることが多いと思います。

その中の一つに「百も承知、二百も合点」という慣用表現があります。「ヒャク」と仮名で書くのはわかるのですが、「二百」の方が「ニヒャク」とすべてカナでもなく「200」と数字でもなく「数2ヒャク」とするのはどう考えればよいのでしょうか。

「位」を表しているという考え方になりますでしょうか？

【A】

「百も承知、二百も合点」を「2ヒャク」としているのは一つには、1と2の数字の比較の意味があります。

「一理ある」という場合は仮名でも、「一理も二理もある」となれば数字になりますので、2を強調するという意味があります。

しかし、200ちょうどではないので、「ヒャク」をカナにしています。

位を表す意味ではなくても、「イチネン■5ヒャクショー」「3ビャク■ダイゲン」など、3や5の数字の意味は強調したいが、ちょうどその数では無い場合、「ヒャク」の部分をカナにしているものもあります。

## 3. p36 1. 数字を漢字音で発音する場合 (6)

通常はカナ書きにするものでも、「一理も二理もある」「彼に一目も二目も置いている」などは数字になるとのことですが、次の場合はどうでしょうか。

「二の足どころか、三の足四の足を踏んでしまう」

【A】

ご質問の場合、「一理も二理も」「一目も二目も」のように連続して書いてあるわけではありませんので、前の「二の足どころか」は仮名で書いた方がよいように思います。三の足、四の足は数字で書きます。

「二ノアシドコロカ、数3ノ■アシ■数4ノ■アシヲ■フンデ■シマウ」

## 4. p36 1. 数字を漢字音で発音する場合 (6) [参考]

「一段と」と助詞の「と」を伴って副詞的に使用される場合は仮名で書くと認識しています。

そうでない場合の「一段」で点訳フォーラムの用例では

「イチダン落ちた品」「イチダンの進歩」

「数1ダン高い声」「腕が数1ダン上がる」

というのが出ていました。これらの違いを教えてください。

また、「無礼の一段、お許してください」や「一段声を落として話し始める」という場合はどうなりますでしょうか？

【A】

「一段」は、

1. 階段・段階のひときざみ
2. 文章・語り物などの一区切り

という意味と、

「いちだんと」の形が多いのですが、「いちだん」でも、

3. はっきりと差がある様子、ひときわ、格別に  
という副詞的な意味もあります。

声域（一段高い声）や腕前（一段腕があがる）はどの音まで出るか、腕が何段階上達したか、対象によっては何級・何段相当の腕前かなど段階のきざみを当てはめることができますので、「一段と」という副詞用法でない場合は、1. にあたると考え数字で書きますが、「一段落ちた品」「一段の進歩」の場合は段階刻みの概念を当てはめにくく、「一段」だけであっても3. の副詞的な用法と考えるのが妥当であると判断しています。

「無礼の一段、お許してください」は、抽象的な「一段」であり、

「一段声を落として話し始める」は、テレビのボリュームを落とす場合は「数1ダン」ですが、話し声を落とす場合は、「ひときわ」の意が合うと思いますので、ともに仮名で、「イチダン」と書きます。

5. p37 数字の漢字音・和語読み

料理のレシピ本を点訳しています。材料の分量の表し方で意見が分かれています。分量なのでほとんどが数符を用いますが、以下の例のように助数詞によっては和語読みでカナで表すものもいくつかあります。

レタス・・・1玉（①ヒトタマ）（②1タマ）

みつば・・・2束（①フタタバ）（②2タバ）

なめこ・・・1袋（①ヒトフクロ）（②1フクロ）

鮭・・・1切れ（①ヒトキレ）（②1キレ）

①「ルール通りにカナで書くべき」という意見と

②「分量なので数符を用いた方がわかりやすい」という意見があります。

②の書き方は許容されるのでしょうか。作り方などの文章中に出てきた場合はルール通りカナで書いています。

【A】

ヒトタマ、フタタバ、ヒトフクロ、ヒトキレと書くのが自然だと思います。

分量でも、和語読みして分かりにくいと言うことはありません。

6. p40 4. 固有名詞の中の数字 【備考】

白楽天の七言十二詩「駕部呉郎中七兄に贈る」の書き表し方についてお尋ねします。調べたところ、「駕部」も「郎中」も官職名、「呉」は名前、「七」は排行、「兄」は敬称ということでした。「駕部呉郎中」は「ガブ■ゴ■ローチュー」ではないかと思いますが、「七兄」はどう書き表したらよいのでしょうか。排行の七は数を表すとして数符を使って書きますか。あるいは名前の一部とみなして「シチ」とカナで書くのがよいのでしょうか。「兄」は2拍の敬称なので「七」に続けて書いてもよいのでしょうか。

【A】

「駕部呉郎中七兄に贈る」は調査されたとおりのマスあけでよいと思います。一族の中の生まれ順などの「排行」で呼んでおり「呉家の7番目さん」というニュアンスのようです。本名とは違うもので数字の意味がありますので、とくに数字だけで「七兄」「老七」などと読んでいる場合は、数字で書いてよいと思います。

ガブ■ゴ■ローチュー■数7ケイニ■オクル  
となります。

### その3 アルファベット

#### 1 文字として書き表す場合

##### 1. p46 4. 一続きに書き表すべき1語中のアルファベットと数字

ロンドンのポストコード、SW1～SW20、W1～W14などあるようですが、この場合1語中のアルファベットと数字と考えずに、SW ■ 1 とマスあけした方がよいのでしょうか。

【A】

イギリスのポストコードは日本の郵便番号のようなもので、アルファベットと数字の組み合わせでできているようです。

前半と後半のコードに別れていて、前半の Outward code は地域により異なり、2桁から4桁、後半の Inward code は必ず3桁です。前半と後半はスペースで区切ります。ということです。

SW1A 0AA

のような形になります。数字とアルファベットは続けて書き、前半と後半は一マスあけて書きます。

上の例の場合は、日本文の中では 外大大SW数1外大A■数0外大大AA  
外国語引用符の中では、外文字は使わずに 大大SW数1大A■数0大大AA  
となります。

## 2 語や文を書き表す場合

### 1. p47 1. アルファベットで書かれた語句や文 【備考】

参考文献に出てきた Ref. の書き方で質問します。

《原文》(参考文献のところ)

内閣情報局編『写真週報293号』(内閣印刷局) 1943年、『JACAR (アジア歴史資料センター) Ref. A06031088800、写真週報293号』(国立公文書館)

この Ref. A06031088800の書き方についてです。

① Ref. も A も それぞれ、外字符で書く

② 全体を外国語引用符で囲んで書く

①②のどちらでしょうか。

また、一般論として、Apr. Mar. Vol. 等は外字符ですが、Q & Aによると、navi、max 等は外国語引用符となっています。max も maximum の省略語と思いますし、日本語(外来語)としても定着している部類のようにも思います。

Dr. が外字符なので、Mr. Mrs. も外字符と思いますが、どちらも英語としての意味も持っているのも事実です。外字符と外国語引用符のどちらを使うかについてどう判断するのでしょうか。

【A】

Ref. A06031088800は、Ref. がレファレンスコードで、A以降が番号ですので、それぞれに外字符を付けて

外大 R e f. ■外大 A 数06031088800

と書くのがよいと思います。

アルファベットにピリオドが付いて略称として用いられている場合は、原則として外字符を用いて書きますので、cf. Ref. Dr. Mr. Mrs. Sun. Mon. などは、英語の中でもそのまま用いられますが、日本語の中ではすべて外字符を用いて書きます。ただ、MAX、NAVI、BIZ など英単語として用いられる語は外国語引用符で囲んで書く方が原則となります。その中で、OK、FAX、eco など、特に外来語としても日本語の中で馴染みのある一部の語を外字符で書くと判断しています。

### 2. p47 「コラム9」

外国語引用符か外字符かで迷っています。

英単語、ローマ字は、外国語引用符と教えられました。

Spotify は、「spot」と「identify」の造語、kencom は、「kenco」と「com」の造語。

造語は外引符でよいのでしょうか。

UNICON は「unicycling」と「convention」なのですが、外字符と言われました。こ



ちらも造語ではないでしょうか。どのように判断すればよいのでしょうか。

【A】

語の各要素の頭文字を取ったり、語のほんの一部を取って並べ、略称として用いられている場合は外字符になりますが、語の要素でも単語的な要素を組み合わせで造語した場合は外国語引用符になると思います。

「Spotify」は「spot」と「ify」という英語の接尾辞的な語を組み合わせていますので、外国語引用符で囲んで書くのがよいと思います。引大 S p o t i f y 引

「kencom」も「健康」の「kenco」と「共に」の「com」を合わせた造語ですので外国語引用符で囲んで引 k e n c o m 引と書きます。

UNICON は、「国際一輪車大会」で unicycle convention の前の 3 文字ずつを取って、略称として用いられていますので、外字符でよいと思います。